

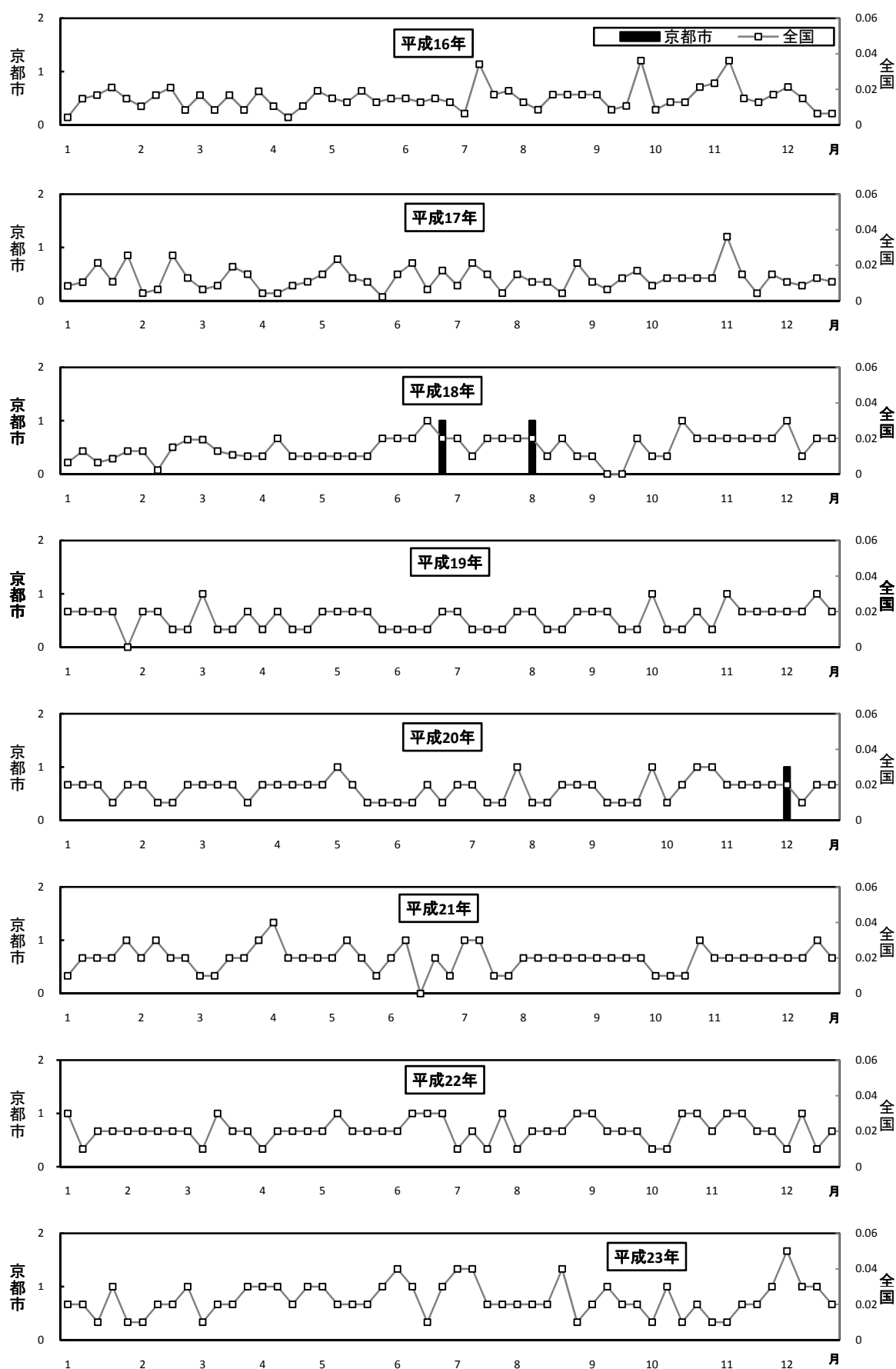
オ 基幹定点

平成 23 年 2 月 1 日から薬剤耐性アシネトバクター感染症が追加され、基幹定点対象感染症は、8 感染症となった。そのうち報告のあったのは、2 感染症（無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎）で年間総報告数は 5 例（無菌性髄膜炎 2 例、マイコプラズマ肺炎 3 例）であった。

マイコプラズマ肺炎の詳細は、[患者情報1](#)（平成 23 年のトピックス）「(1) オ 平成 23 年 マイコプラズマ肺炎のまとめ」を参照。

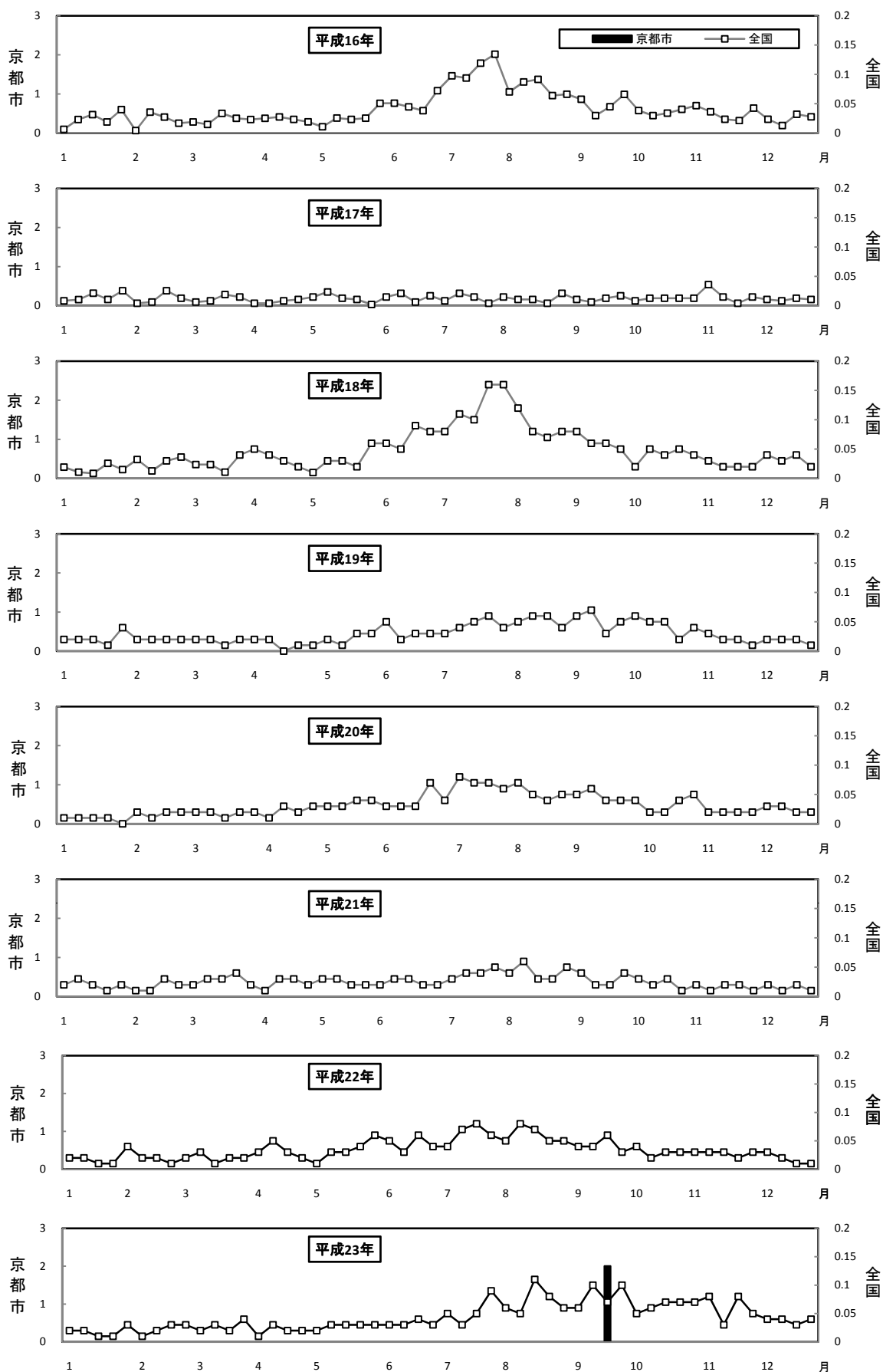
細菌性髄膜炎

週別定点当たり報告数の推移



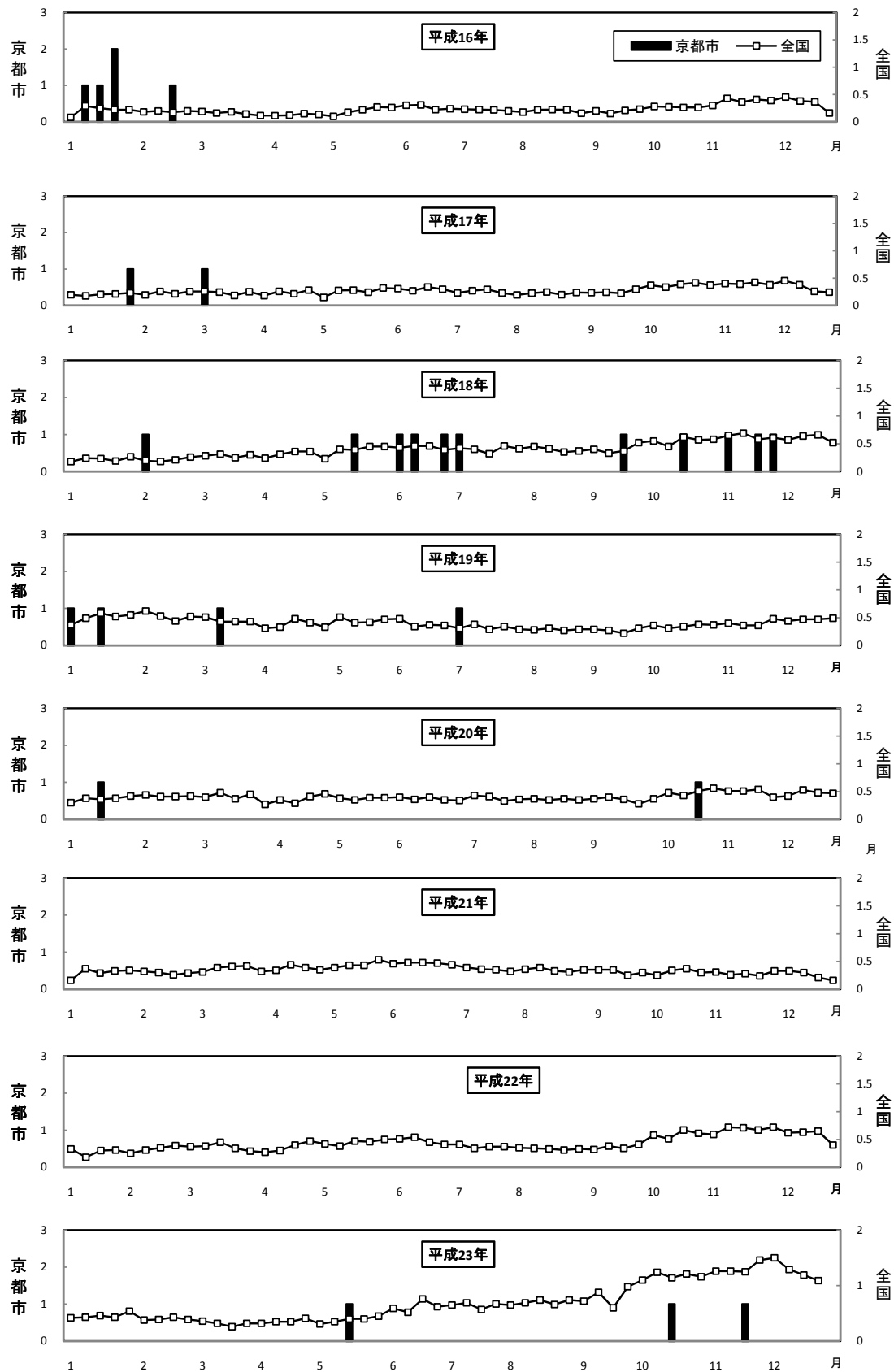
無菌性髄膜炎

週別定点当たり報告数の推移



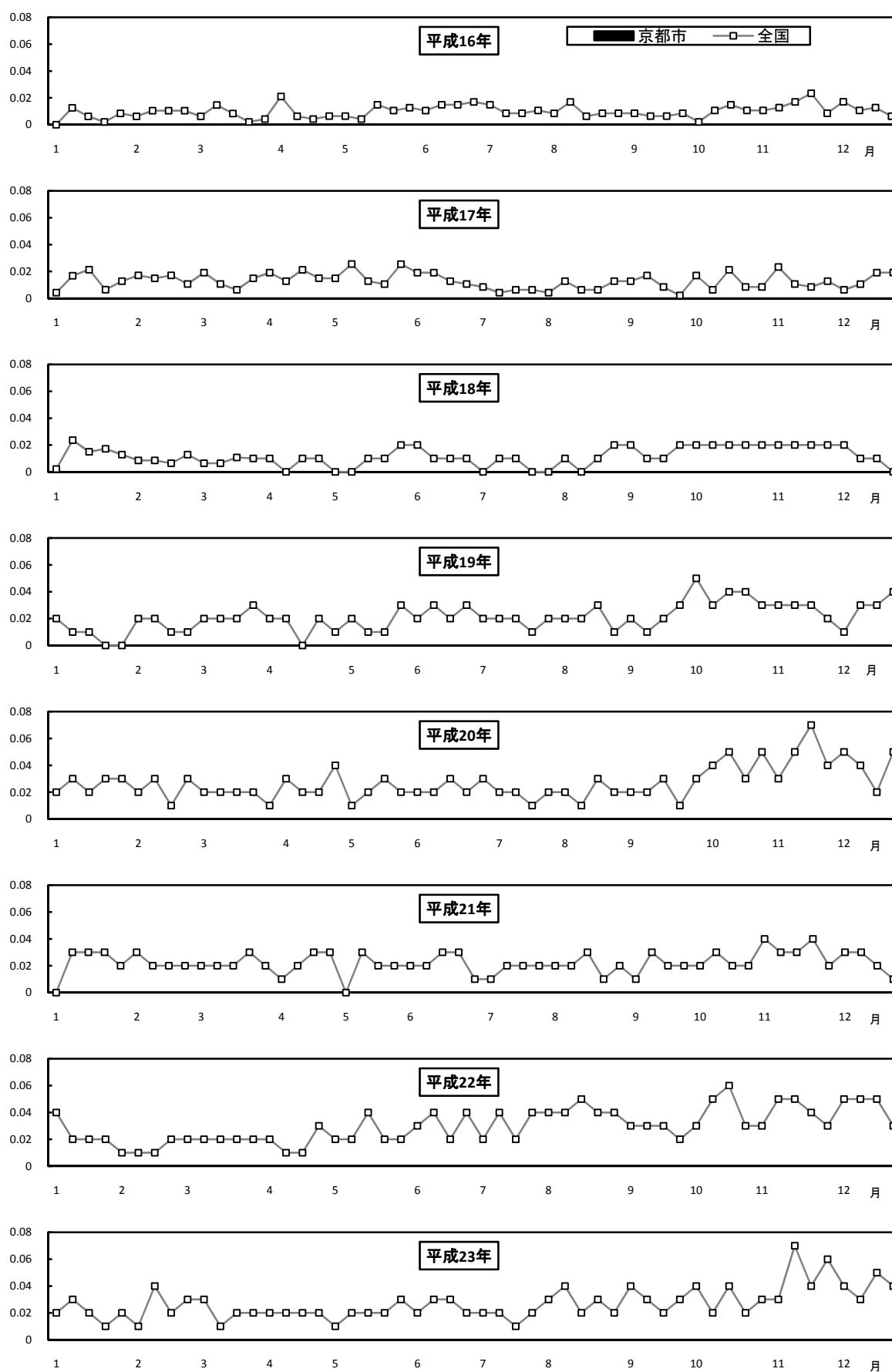
マイコプラズマ肺炎

週別定点当たり報告数の推移



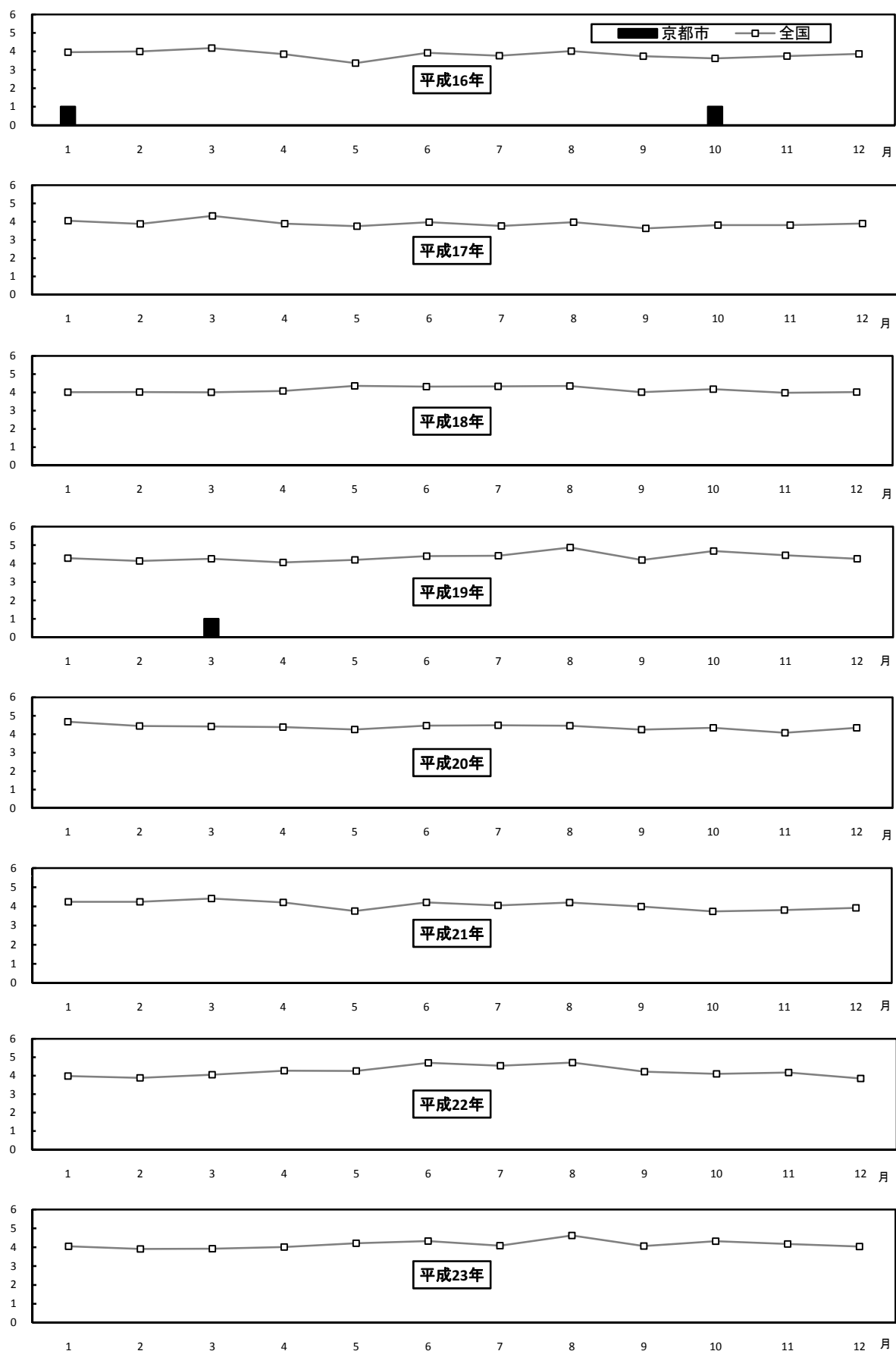
クラミジア肺炎

週別定点当たり報告数の推移



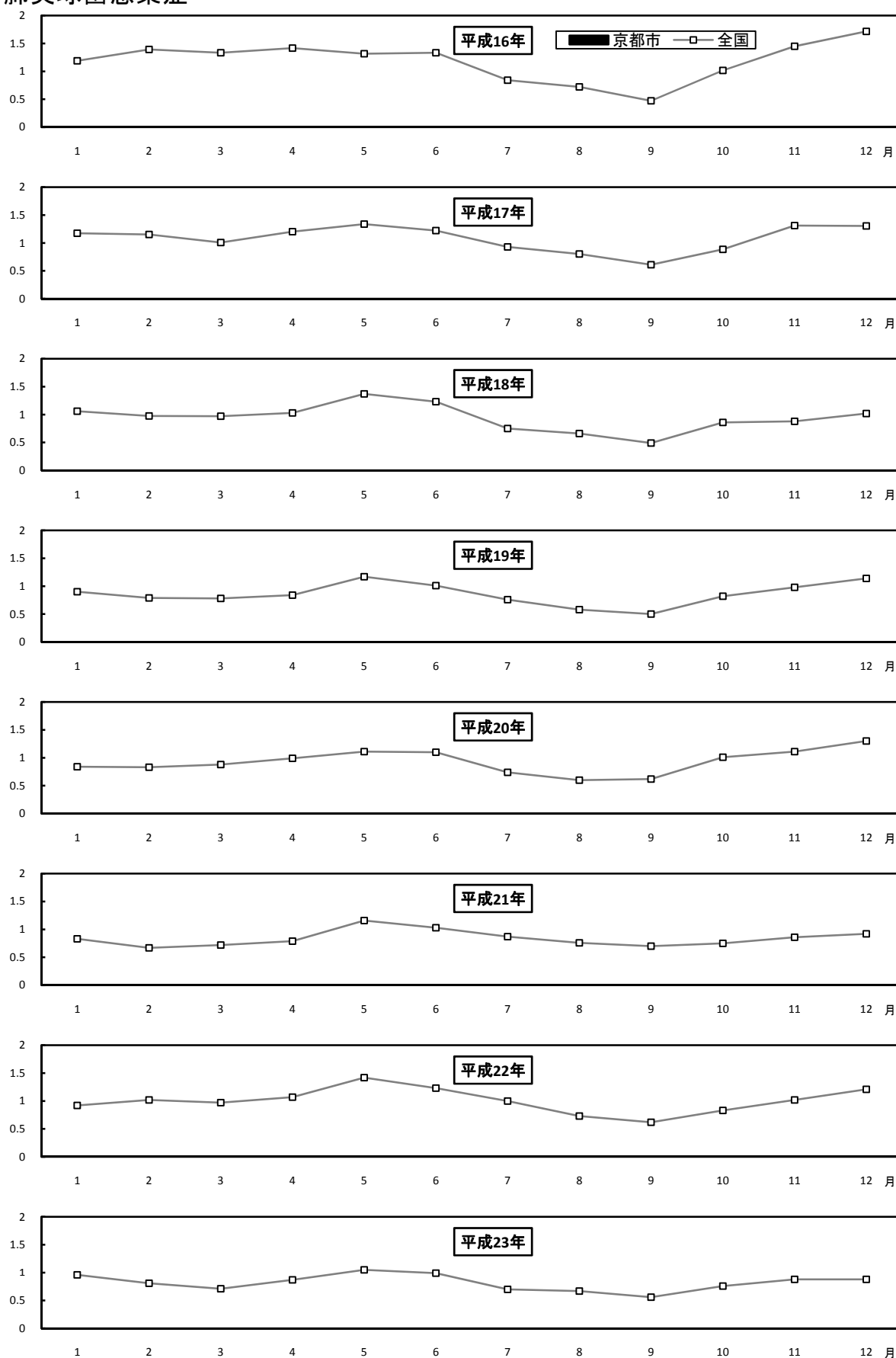
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症

月別定点当たり報告数の推移

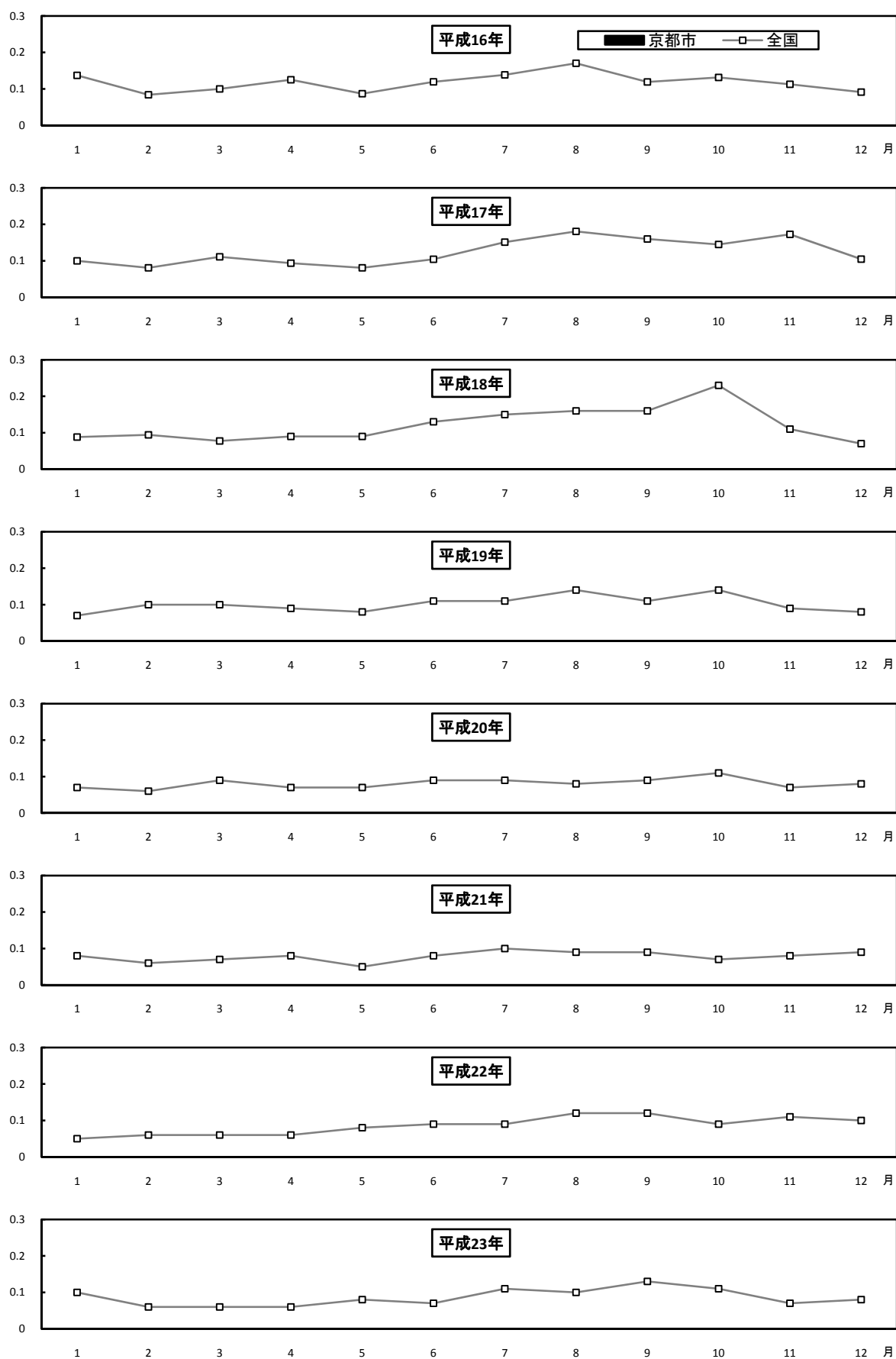


ペニシリン耐性
肺炎球菌感染症

月別定点当たり報告数の推移

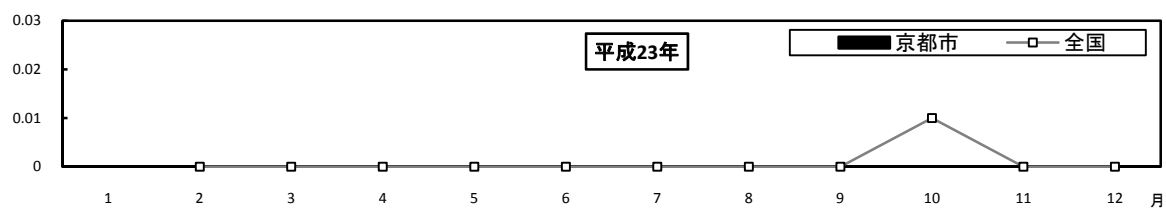


薬剤耐性緑膿菌感染症 月別定点当たり報告数の推移



薬剤耐性
アシネトバクター感染症

月別定点当たり報告数の推移



(5) 法第14条第1項に規定する厚生労働省で定める疑似症の概況

報告はなかった。